



北山田小だより



横浜市立北山田小学校
校長 滝川 尚美

「豊かな表現を工夫する」 ～国際平和スピーチコンテスト～

校長 滝川 尚美

通学路に紫陽花の花が咲き始めました。梅雨入りも間近な休み時間、子どもたちは、外遊びができるのか戦々恐々と昇降口にやってきます。そして、雨が上がるのを待って、「外遊びをさせてください」と教員に直談判する姿も見られます。雨上がりの校庭で、水たまりをよけながら元気に遊ぶたくましい子どもたちです。

さて、6年生は、横浜市で行われる「横浜国際平和スピーチコンテスト」に向けて取り組んでいます。テーマは、「国際平和のために自分がやりたいこと」です。国際平和という広い課題ではありますが、児童は、海洋汚染、人権問題、貧困、気候変動などSDGs (Sustainable Development Goals) にあげられている事柄や、身近な問題としてのいじめや差別など、自身の問題意識をもとにさまざまなテーマに取り組みました。難しい課題ですが、それぞれのテーマに応じて、図書館に設けられた参考資料コーナーやタブレットを活用し情報を集め、考えを深めました。そして、最も伝えたい事を決め、文章構成や話し方を工夫し、スピーチの準備をしました。クラスで行ったスピーチでは、一人一人問題意識を明確にし、どうすれば解決できるかを具体的に話す姿が頼もしかったです。その後、27日には、クラス代表の児童6名が、体育館で5・6年生に向けてスピーチを披露しました。一言、一言を大事にした丁寧な話し方、全体への目配り、話しかけるような口調など、みんなに思いを届けようという気概に満ちた力強いスピーチでした。代表児童の作品は図書館前に掲示しています。下級生の参考になればと思います。このように国語の学習においては、学年に応じて「話すこと・聞くこと」を大切に、言葉を通じて積極的に人と関わったり、思いや考えを広げたりすることに取り組んでいます。言葉がもつよさを知り、「豊かな表現を工夫する力」を育てていきたいと考えています。



また、今回、原稿づくりでも活用しましたが、各クラスでGIGA開き(タブレット端末の初期指導)を行い、タブレットを学習で使い始めています。今はまだアカウントの入力に苦戦する様子もありますが、ロイロノートの使い方が分かると早速アンケート機能でクラスの友達に好きなスポーツを聞いたり、自分のスピーチを録音して話し方の改善に生かしたりする児童もいました。まだまだ、始まったばかりですが、今後、ICTの活用が、子どもたちの学びの広がりや深まりにつながるように取り組んでいきます。

6月に入ります。まだ、コロナウイルスの感染状況が予断を許さない状況ではありますが、子どもたちの新しいチャレンジの種が芽を出し始めています。今できることに目を向け、大事に見守り、大きく育てていけるよう、よりよい教育活動、授業づくりに努めてまいります。



<今後の教育活動について>

◆水泳学習

例年6月中旬～9月初旬まで水泳学習がありますが、現在、学校として感染拡大予防をしたうえで、児童の安全も確保しながら適切な水泳学習を実施することが大変難しい状況にあります。そこで、今年度は水泳学習の実技を中止とし、水泳運動や水遊びの際の心得など安全面での指導についてはDVD等を活用し必ず指導することとします。

◆宿泊を伴う行事宿

泊を伴う行事につきましては「まん延防止等重点措置の実施期間中は、感染リスクを考え実施しないこと」という通知が教育委員会より発出されています。状況に応じて延期や日帰りに変更することも考えられますが、子どもたちの思いに寄り添い、よりよい方法を考えてまいります。